【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公表番号】特表2006-504431(P2006-504431A)
【公表日】平成18年2月9日(2006.2.9)
【年通号数】公開・登録公報2006-006
【出願番号】特願2004-550175(P2004-550175)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｂ　15/28　(2006.01)
Ａ２４Ｄ　 1/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｂ　15/28
Ａ２４Ｄ　 1/18

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月23日(2006.10.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電気式喫煙システムのための電気加熱式タバコであって、
少なくとも１つの吸着剤と、
香味料放出添加剤と、
を含み、前記香味料放出添加剤は、該香味料放出添加剤が少なくとも最低温度まで加熱されると電気加熱式タバコ中に放出可能である少なくとも１つの香味料を含む、
ことを特徴とするタバコ。
【請求項２】
前記香味料放出添加剤は、ビーズの形態である
ことを特徴とする、請求項１に記載の電気加熱式タバコ。
【請求項３】
前記最低温度は約４０℃であり、
前記ビーズは、電気加熱式タバコの喫煙中に少なくとも約４０℃に達する、該タバコの少なくとも１つの位置に配置される
ことを特徴とする、請求項２に記載の電気加熱式タバコ。
【請求項４】
前記ビーズは、タバコロッド、タバコプラグとフリーフローフィルタの間の空隙、フリーフローフィルタ上、タバコ含有マット上、及び／又は該タバコプラグを取り囲む内側ラップ上、に配置される
ことを特徴とする、請求項２に記載の電気加熱式タバコ。
【請求項５】
前記香味料放出添加剤は、フィルムである
ことを特徴とする、請求項１に記載の電気加熱式タバコ。
【請求項６】
前記フィルムは、タバコプラグ、該タバコプラグを取り囲む内側ラップ上、タバコ含有マット上、及び／又は該マットを取り囲む覆いラップ上、に配置される
ことを特徴とする、請求項５に記載の電気加熱式タバコ。

【請求項７】
前記香味料放出添加剤は、ホスト分子を含む包接錯体であり、
前記香味料は、前記包接錯体中のゲスト分子である
ことを特徴とする、請求項１に記載の電気加熱式タバコ。
【請求項８】
請求項１に記載の電気加熱式タバコを製造する方法であって、
（ａ）少なくとも１つの吸着剤と、
（ｂ）香味料放出添加剤が少なくとも最低温度に加熱されると電気加熱式タバコ中に放出可能である少なくとも１つの香味料、を含む香味料放出添加剤と
を、電気加熱式タバコに組み込む段階、
を含むことを特徴とする方法。
【請求項９】
電気式喫煙システムであって、
ライターと、
少なくとも１つの電気加熱式タバコと
を含み、前記電気加熱式タバコは、
少なくとも１つの吸着剤と、
香味料放出添加剤が少なくとも最低温度に加熱されると前記電気加熱式タバコ中に放出可能である少なくとも１つの香味料、を含む香味料放出添加剤と、
を含むことを特徴とするシステム。
【請求項１０】
電気加熱式タバコであって、
少なくとも１つの吸着剤と、
ビーズ、フィルム、及び包接錯体から成る群から選択された形態の、少なくとも１つの香味料放出添加剤と、
を含み、各香味料放出添加剤は、該香味料放出添加剤が少なくとも最低温度に加熱されると電気加熱式タバコ中に放出可能である、少なくとも１つの香味料を含む、
ことを特徴とするタバコ。